

平成30年度 青葉区 運営方針

I 基本目標

『住みつづけたい・住みたいまち青葉』の実現 ～ 青葉クオリティプロジェクトの推進 ～

青葉区は、計画的に整備された美しい街並みや豊かな自然、充実した交通網、活発な地域の力など、さまざまな魅力にあふれたまちです。また、男性の平均寿命が全国1位（83.3歳）、女性が9位（88.5歳）※となり、長寿のまちでもあります。しかし、住民及び地域の担い手の高齢化や若い世代の減少、住宅や都市インフラの老朽化など、避けられない問題にも直面しつつあります。

このすばらしいまちを次の世代に確実に引き継いでいくためには、現在の青葉区のブランド力を維持するとともに、将来を見据えた先進的な取組を実施していく必要があります。

青葉区では平成28年度から、青葉区の特性を生かした独自の取組「青葉クオリティプロジェクト」を推進しています。これまでの2年間で取り組んできた実績を踏まえ、平成30年度も引き続きプロジェクトを推進し青葉区の魅力をさらに高め、「住みつづけたい・住みたいまち青葉」の実現を目指します。

※ 厚生労働省「平成27年市区町村別生命表」（平成30年4月公表）による

II 目標達成に向けた施策

青葉クオリティプロジェクト5つの柱

1 魅力いっぱい！ 青葉クオリティ発信プロジェクト

青葉区の特徴を、区の内外に「青葉クオリティ」として発信し、街の魅力を定着させます。

2 暮らしをまもる！ 安全・安心まちづくりプロジェクト

区民の皆様の安全・安心を守るとともに、美しいまちづくりを推進します。
また、区役所の環境改善やサービス向上を目指します。

3 すくすく・いきいき！ 健やか暮らしプロジェクト

区民の皆様のカやそのつながりを大切にしながら、誰もが安心して健やかに暮らせる地域づくりを進めます。

4 彩りあふれる！ 青葉エコプロジェクト

青葉区の特徴である自然環境と街並みの調和や、花や緑の豊かさを生かしたまちづくりを推進します。

5 住み続けたいまち！ 次世代郊外プロジェクト

少子・高齢化、人口減少などを踏まえ、社会変動に対応した持続可能なまちづくりを進めます。

III 目標達成に向けた組織運営

組織運営にあたっては、区民の皆様とともに課題解決に取り組む「地域連携力」、組織の垣根を越えて互いに協力する「チーム力」、互いに学び合い、幅広い視野で自ら考え行動する「職員力」を高めます。そして、区役所全体が一丸となって業務や事業に取り組み、区民の皆様の信頼に応えます。

地域連携力を高める

地域と「顔の見える関係」を築き、地域の実情や課題を共有しながら、地域課題の解決に取り組めます。

また、地域の組織や団体の連携が深まるよう、コーディネート力を発揮して、地域の主体的な取組を支援します。

チーム力・職員力を高める

組織内のコミュニケーションを活発化させ、組織の垣根を越えて互いに協力し支え合う組織づくりを進めます。

また、互いに学び合い、業務スキルを向上させるとともに、自ら考え挑戦していく人づくりを推進します。

区民の皆様の信頼に応える

職員一人ひとりが区民の皆様の気持ちに寄り添い、丁寧かつ迅速な対応を心がけます。

また、常に適正な事務事業の執行に努め、絶えず見直し・点検を行うとともに、業務改善やワークスタイル改革にも積極的に取り組みます。

★基本目標等を具体化する、主な事業・取組については、次頁をご覧ください。

参考 主な事業・取組

1 魅力いっぱい！青葉クオリティ発信プロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○ 芸術文化の振興	
・ A0BA デジタル・アートミュージアムの充実	青葉区の資産である数々のアート作品などを掲載したホームページを充実し、区内外に魅力を発信します。
・ あおば美術公募展の開催	区内で美術活動を行う皆様から絵画作品を公募し、「文化のまち青葉区」らしい市民協働による「第3回あおば美術公募展」を開催します。
・ フォトジェニック青葉 フォトコンテストの開催	青葉区の魅力や特色をテーマにした「フォトコンテスト」を開催します。
○ 青葉ブランドの認定	区内の美味しいお店を「青葉ブランド」として認定し、青葉区の魅力を区内外に発信します。
○ 青葉6大学連携の推進	区内にある大学との連携をさらに推進するため、「青葉6大学連携 学長会議」や「6大学連携講座」を実施します。

2 暮らしをまもる！安全・安心まちづくりプロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○ 防災の街づくりの推進	
・ 地域防災拠点の機能強化、情報伝達手段の拡充 ほか	地域防災拠点の機能強化を図るとともに、FM サルースのスマートフォンアプリと連携し、「青葉区版防災情報伝達システム」を拡充します。
・ 災害時要援護者の支援、災害時医療体制の充実	福祉避難所や地域防災拠点における、災害時要援護者の受入訓練の実施及び支援を行います。また、災害時地域定点診療拠点の医療体制充実に向けた取組を進めます。
○ 防犯意識向上のための啓発、活動支援の推進	振り込め詐欺などの犯罪被害を防止するため、防犯啓発や自主防犯活動支援の取組を充実します。
○ 地域での美化活動支援の推進	自治会・町内会等が行う地域での美化活動への支援を行います。また、美化推進重点地区となっているあざみ野駅周辺で、ポイ捨て・歩きタバコ禁止の啓発活動を行います。
○ 居心地の良い区役所づくりの推進	快適で居心地の良い区役所を目指し、多くの人々が利用する2階待合スペースの環境改善を行います。

3 すくすく・いきいき！健やか暮らしプロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○ ソーシャルパワーの発揮 ～あなたの力の1%を あおば の未来に！～	
・ 次世代育成の推進（地域で活躍する大人と中高生による市ヶ尾ユースプロジェクト）	地域で活躍する大人と中高生が意見交換をしながら活動を企画・実施し、学校と地域の連携や青少年の健全育成の推進につなげます。
・ コミュニティビジネス創業支援（セカンドキャリア地域起業セミナー）	セカンドキャリアでの活躍機会の創出に向けて、コミュニティビジネス起業支援を行います。
・ 地域デビュー支援（あおば de スタートセミナー）	地域での活動の始め方の基礎を学ぶ連続セミナーを開催します。得意なことや経験を生かし、多彩な方々が新たなことにチャレンジして、地域で活躍できるよう支援を行います。

・区民活動の支援・コーディネート機能の強化	区民活動支援センター等の区民利用施設において、区民の皆様の活動のきっかけづくりや団体間の交流を支援するとともに、さまざまな活動や人をつなぐコーディネート機能を強化します。
○「あおば子どもシステム」の推進	
・子育てしやすいまちづくりの推進、発達段階に応じた育児支援 ほか	区・地域・関係団体等が連携して子どもの育ちを支える仕組みづくりを進めます。また、主に転入者向けの体験ツアー、親子向け講座などを行い、青葉区での楽しい子育てを応援します。
・障害児支援の推進	障害児に関する「サポートファイル」を活用し、保護者と支援者、学校や関係機関等との連携を深めます。また、発達障害に関する講演会等による啓発を通じて、支援の必要な児童を適切な支援に繋がります。
・読書を生かした青少年の居場所づくりの推進	山内図書館との連携や「あおば区民文庫サロン」等を活用した、読書を生かした青少年の居場所づくりを実施します。
○青葉区版地域包括ケアシステムの推進	「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた青葉区行動指針」に掲げる「健康づくり・介護予防」「生活支援体制整備」「医療・介護連携」「認知症施策」「シニアの社会参加」の5つの柱に沿った取組を進めます。
○障害者支援の推進	生活支援センターで発達障害者等のグループワークを行うほか、就労している精神障害者等の居場所づくりを行う「発達障害者支援モデル事業」を実施します。
○大学と進める青葉の健康づくりの推進	区内の大学の教育・研究機能を生かしたウォーキングイベントや健康づくりに関する講演会等を実施し、区民の皆様の健康増進を図ります。
○青葉区民マラソンの開催	区内の公道10キロメートルを走り抜ける「青葉区民マラソン大会」を開催します。区全体で大会を盛り上げ、区民の皆様の健康増進やスポーツ振興を図ります。

4 彩りあふれる！ 青葉エコプロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○花と緑があふれる街づくりの推進	「フラワーネックレス青葉2017」を通じて醸成された、花と緑に関する区民意識の高まりを踏まえ、風土づくりや活動支援などを行い、持続可能な花と緑の事業モデルを、区内団体との協働により展開します。
○あおば地産地消の推進	区庁舎での直売ブース「あおばマルシェ」の充実に加え、地産地消サポート店拡大に向けたPR等を通じ、地産地消の取組を推進します。
○青葉エコなまちづくりの推進	豊かな青葉区の自然環境を生かし、大学と連携した「青葉ミツバチプロジェクト」を実施するほか、IoTなどを活用した、エコでスマートな暮らしに関する検討を行います。

5 住み続けたいまち！ 次世代郊外プロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○シェアリングエコノミーの推進	大学・地域・行政が連携し、地域の活性化、地域活動の担い手の確保、学生への住まいの支援を目的とした「シェアハウス」を展開します。 また、民間企業等が所有する空きスペースを区民の皆様が有効利用できるように「スペースシェア」の取組を進めます。
○青葉みらいおこし補助事業の実施	地域の皆様からの提案を受け、地域課題の解決に向けた取組への事業費補助や区の組織を横断した支援チームによる支援を行います。

○市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づく案内サインの再整備	市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づき、市が尾駅周辺地区全体における「案内サインの改善」に向け、サインの改修、増設を行います。
○あおばコミュニティリビングの検討	買い物や子育てなどの生活に必要な機能が充実した「歩いて暮らせるまちづくり（コミュニティリビングモデル）」を区内の各所で展開できるよう、モデル地区での事業化に向けた検討を行います。
○田園都市線沿線まちづくりの推進	民間事業者の力を生かし、各駅周辺に駅ごとの特性を生かした機能を適切に誘導するとともに、駅相互の機能分担・連携を図ることにより、沿線全体で連携したまちづくりを進めるため、まちづくりプランの見直しを行います。

その他主要事業（市役所と区役所が連携・協力して実施する事業）

【主な事業・取組】	【内容】
○荏田コミュニティハウスの整備	地域の皆様の交流の場として、赤田東公園（あざみ野南）に「荏田コミュニティハウス」を整備します。平成30年度末に竣工・開所する予定です。
○高速鉄道3号線延伸の検討	高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）について、事業化の判断に向けた調査・検討を進めます。
○横浜環状北西線の整備	東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指し、青葉区内では東名高速道路の横浜青葉インターチェンジ・ジャンクション付近で北西線の橋梁工事を進めます。
○山内小学校の環境整備	教育環境改善のために老朽化している校舎を解体し、増築棟整備に着手します。
○保育所の整備	待機児童解消に向け、必要な保育所の整備等を進めます。
○放課後児童育成事業の推進	すべての子どもたちに、豊かな放課後を過ごせる場所と機会を提供するため、平成31年度末までにすべての小学校の「はまっ子ふれあいスクール」を「放課後キッズクラブ」へ転換します。また、「放課後児童クラブ（学童クラブ）」に対する支援を推進します。
○ごみ問題を抱えている人への支援事業の推進	ごみをため込んでしまうことにより、本人や周囲の生活環境にさまざまな影響を及ぼしている場合について、当事者に寄り添った支援を進めます。

組織運営について

【主な事業・取組】	【内容】
○地域連携力を高める取組	連合自治会・町内会ごとに課長・係長を配置する「地区担当制」により、地域と連携しながら地域課題の解決に取り組みます。また、「第3期青葉区地域福祉保健計画」の推進、地域で活動する皆様が学びあう「みらいづくり大学」の実施、各地域防災拠点の運営支援等とともに、さまざまな活動の中でコーディネート力を発揮して、地域連携力を高めます。
○チーム力・職員力を高め、区民の皆様の信頼に応える取組	CS・ES向上に向けた研修や課の垣根を越えた職員プロジェクトの実施等を通して、チーム力・職員力を高めます。また、絶えず事務事業の点検、見直しを行うとともに、業務改善やワークライフバランスの推進により職員の心身の健康を保ち、市民サービスの更なる向上に努めます。